観点別特色

(１)教育基本法への対応

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 1．幅広い知識と教養、豊かな情操と道徳心を培う。 | ①言語活動を通して、伝え方や使えるフレーズを学び、コミュニケーションに生かせる知識を身に付けます。  ②世界の人たちの生活や文化を知ることで、幅広い知識と教養を身に付けます。  ③やりとりの場面を多く設定することによって、友だちと伝え合う楽しさを感じられるようにしています。  ④コミュニケーションに大切なことを考える場面を多く設定し、他者に配慮した伝え方を考えます。  ⑤読み物教材を通して、自然について考えたり、大切なものは何かを考えられるようにしています。 | ①5年・6年：全体  ②5年：p.38, 40  6年：p.32, 34  ③5年：p.35  6年：p.17  ④5年：p.6-7, 38-39  6年：p.8-9, 32-33  ⑤5年・6年：p.104-107 |
| 2．自主・自律の精神を養い、勤労を重んずる態度を養う。 | ①学びの見通しをもったり、振り返ったりすることで、主体的に学習を進められるようにしています。  ②自分の住む地域にとって必要なものを考える活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。  ③あこがれの人の職業・偉業や将来の夢について考えるなど、キャリア教育につながる題材を扱っています。  ④読み物教材を通して、勤労の大切さを学びます。 | ①5年：p.33(GOAL), p.40(Look Back), p.130-131(Can-Do List)  6年：p.26, 34, 130-131  ②6年：Unit 3  ③6年：Unit 5, 7  ④6年：p.91 |
| 3．正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる。 | ①さまざまな人種の人々が、互いを尊重し、垣根なく接する様子を掲載しています。  ②イラストや写真などにおいて、「固定観念で性の区別をしない」、「男女の社会的役割を平等にする」など、ジェンダーへの配慮をしています。  ③ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、他者と協働することで言語面や態度面などにおけるさまざまな気づきが生まれるようにしています。 | ①5年：p.29  6年：p.29  ②5年：p.32-33  6年：p.82-83  ③5年：p.35  6年：p.29 |
| 4．生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 | ①世界のSDGsに関する取り組みを紹介し、生命や自然を大切にする心を育みます。  ②自然遺産を含む世界遺産の写真を多く掲載し、自然の豊かさに目を向けられるようにしています。 | ①5年：p.102-103  6年：p.48-49  ②5年：p.91 |
| 5．我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 | ①世界に日本の魅力を発信する活動を通して、自国と郷土に対する理解を深め、愛する心を育みます。  ②世界の国のことを知ったり、行ってみたい国の魅力を伝える活動を通して、他国のことを理解・尊重する心を育みます。  ③世界の人たちの生活や文化を知ることで、他国のことを理解・尊重する心を育みます。 | ①6年：Unit 2  ②5年：Unit 8  ③5年：p.38, 40  6年：p.32, 34 |

(2)学習指導要領への対応

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 1．外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる力を育成する。 | ①Friends around the WorldやDid you know？などで、外国語やその背景にある文化に対する理解を深められるようにしています。  ②Activityなどの言語活動を充実させて、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、思考・判断・表現する力を養います。 | ①5年：p.38, 40  6年：p.32, 34  ②5年：p.39  6年：p.33 |
| 2．外国語についての知識を理解し、活用できる基礎的な技能を身に付ける。（知識・技能） | ①インプット→ミニアウトプットを繰り返し、語句や表現に慣れ親しむことができるようにしています。  ②教科書紙面に語句や表現を明示し、JingleやChantを豊富に入れて、語句や表現に慣れ親しみ、知識・技能の定着を図れるようにしています。また、QRコードを利用すれば、音楽に合わせて練習することができます。  ③巻末に絵カードを掲載し、ゲームなどで使用することで、児童が英語に触れる機会を増やし、基礎・基本の定着を図ります。  ④音声中心の学びから始め、段階的に文字の学習に取り組むことができます。 | ①5年：p.32-39  6年：p.24-33  ②5年：p.34(Jingle), 35(Chant)  6年：p.28, 29  ③5年・6年：巻末  ④5年：p.41  6年：p.35 |
| 3．目的・場面・状況に応じて、聞いたり話したり読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育成する。（思考力・判断力・表現力） | ①コミュニケーションに大切なことを考える活動を多く設け、「考える力」を育てます。  ②児童が場面や状況に応じて、自分が言いたいことをWord Listなどの中から選んで話す活動をすることによって、思考力・判断力・表現力を養います  ③各学期末のREVIEWでは、既習の表現を、場面や状況を変えて使用できるかを問い、思考力・判断力を養います。また、「聞く・話す」、「読む・話す」など技能を統合する活動を行います。 | ①5年：p.38  6年：p.32  ②5年：p.35  6年：p.29  ③5年：p.42-43  6年：p.46-47 |
| 4．外国の文化への理解を深め、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性） | ①興味・関心を刺激する異文化情報を豊富に扱い、外国の文化や生活を理解し、尊重する心を育てます。  ②相手の発言に対する反応表現を学び、他者に配慮しながら話す態度を育てます。  ③Unitとびらには、Unit全体のめあて(GOAL)と各Stepのめあてを明示し、児童が見通しをもって取り組めるようにしています。  ④Unit末のLook Backで学習事項を振り返り、学んだことを今後に生かすことを想起させる問いを入れています。 | ①5年：p.38, 40  6年：p.32, 34  ②5年：p.35(Tips), 付録シート  6年:p.41, 付録シート  ③5年：p.33  6年：p.26  ④5年：p.40  6年：p.34 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 5．児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 | ①子どもたちの生活場面に関連した場面や状況を設定することで、当事者として思考し、判断できるようにしています。  ②語句や表現の意味や使い方について、映像視聴やリスニング活動を通して、自ら推測できるしかけを設けています。推測したことを児童同士で共有することで、理解につながるように工夫しています。  ③コミュニケーションに大切なことを、映像や児童同士のやり取りから自ら気づけるように活動を提示しています。  ④各Stepで慣れ親しんだ語句や表現を使ったミニアウトプット活動を設けることで、達成感を得てモチベーションを高めたり、友だちの発話から相互に学びを深めたりする協働的な学びができるようにしています。 | ①5年・6年：全体  ②5年：p.32-33  6年：p.24-26  ③5年：p.6-7, 38-39  6年：p.8-9, 32-33  ④5年・6年：全体（Activity） |
| 6．4技能5領域について、バランスのとれた活動を行う。 | ①各Unitの各StepにActivityを設け、聞きっぱなしにならないように、話す活動を設定しています。また、6年では、聞いたり話したりしたものを読んだり書いたりする活動を行い、４技能５領域を相互に関連づけながら学習が進められるようにしています。  ②問題の横には、該当する4技能5領域（「聞くこと」「話すこと［やり取り]」「話すこと［発表］」「読むこと」「書くこと」）をマークで表示しています。 | ①5年・6年：全体  ②5年・6年：全体 |

(３)教科書の構成上の工夫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 1．内容 | ①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成できるよう内容を精選し、児童が学年内・学年間の既習内容を生かしながらスパイラルに学習できるようにしています。  ②5年では主に身近なことや知っていることを英語で表現する内容を、6年では身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったりしながら学習する内容を多く扱っています。 | ①5年・6年：全体  ②5年：Unit 3  6年：Unit 3 |
| 2．配列 | ①各Unitに３つのStepを設け、「聞く」「話す」を繰り返しながら、スモールステップで少しずつ積み上げていくようにしています。  ②映像から導入を図るなど、児童が抵抗なく英語に接することができるよう配慮しました。また、イラストや写真を使って効果的に学習できるようにしています。  ③学習や指導の流れがわかりやすいように、各Unitの構成を一定にし、目標や学習する語句・表現を明示しています。 | ①5年：p.32-39  6年：p.24-33  ②5年：p.33  6年：p.26  ③5年・6年：全体 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 3．分量 | ①年間配当時数は64/70（5年）、65/70（6年）に設定し、余裕をもって指導できるように配慮しています。必要に応じて、個に応じた活動やゲームなど、教科書外の活動を取り入れられるようにしています。  ②語彙は学習指導要領で示された700語以上を扱い、豊かなコミュニケーション活動ができるようにしています。 | ①5年・6年：全体  ②5年・6年：全体 |
| 4．基礎・基本の定着 | ①Words and PhrasesやChantなどで基礎的な語句や表現を明示しています。これらの語句や表現はListen and DoやActivityで繰り返し活用しながら身に付けられるようにしています。  ②Let’s Read and Writeではアルファベットの「名前読み」と形を識別して書くことや文字と音との関係について学びます。  ③紙面に掲載したQRコードから、JingleやChantなどの音声を聞いて、語句や表現を練習したり、Let’s Read and Writeで読み書きを学んだりすることができます。 | ①5年：p.34-35  6年：p.28-29  ②5年：p.41  6年：p.35  ③5年：p.34-35, 41  6年：p.28-29, 35 |
| 5．学びの見通し・振り返り | ①児童が見通しをもって学習が進められるように、UnitとびらにはUnit全体のめあて(GOAL)と各Stepのめあてを明示しています。  ②達成度を確認しながら学習が進められるように、各Stepにバロメーター（できたかな）を配置しています。  ③Unitの目標を振り返ることができるように、各Unitの最後にLook Backのコーナーを設置しています。  ④目標を持って学習したり、振り返ったりできるように、巻末にCan-Do Listを掲載しています。 | ①5年：p.33  6年：p.26  ②5年：p.34  6年：p.28  ③5年：p.40  6年：p.34  ④5年・6年：p.130-131 |
| 6．評価 | ①評価の参考となるUnitごとのCan-Do Listを巻末に掲載しています。  ②児童の学習の記録が残せるように、教科書には書き込み欄を多く設置しています。  ③各StepにActivityを設定し、児童が自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を見取れるようにしています。  ④各学年３か所に設けたREVIEWでは、学期末のパフォーマンステストを意識したTryを設定し、思考力・判断力・表現力がはかれるようにしています。また、評価の参考となる「コミュニケーションのポイント」も掲載しています。  ⑤パフォーマンステストの評価の参考となるように、「コミュニケーションに大切なこと」を掲載しています。  ⑥各Unitの最後に設けたLook Backでは、場面を意識した問いも設けています。 | ①5年・6年：p.130-131  ②5年：p.35  6年：p.29  ③5年：p.35, 37, 39  6年：p.29, 31, 33  ④5年：p.42-43  6年：p.46-47  ⑤5年：p.6-7  6年：p.8-9  ⑥5年：p.40  6年：p.34 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 7．個別最適な学びへの配慮 | ①Step1, 2には、Unitで学習する語句や表現を提示し、児童自ら学習を振り返ることができるようにしています。  ②Word Listなどから自分の伝えたいことを選び、個人に合った言語活動ができるようにしています。  ③紙面にQRコードを豊富に掲載し、教科書の各活動の音声、アルファベットや語句をゲーム感覚で学習できるデジタルコンテンツ、世界の文化や生活などについて学べる映像を提供し、個別学習でも利用できるようにしています。 | ①5年：p.34(Jingle), 35(Chant)  6年：p.28- 29  ②5年：p.35（Activity）  6年：p.29  ③5年・6年：全体 |
| 8．外国語活動との接続 | ①5年のPre Unitでは、『Let’s Try！』で学習した語句や表現に再度触れるようにしています。  ②各Unitとびらのページでは、既習事項を使ってやりとりができるイラストや写真を掲載するなど、中学年との連携を図りました。  ③ローマ字は国語で学習した訓令式から英語で中心となるヘボン式へとスムーズに移行できるように配慮しました。  ④5年では、アルファベットの読み方および書き方を1文字1文字丁寧に学習することができるようにしています。  ⑤外国語活動で慣れ親しんだ単語を巻末のWord Listに掲載し、繰り返して使用できるようにしました。 | ①5年：p.8-9  ②5年：p.32-33  6年：p.24-26  ③5年：p.10  ④5年：Let’s Read and Write 1-4  ⑤5年：p.108-128  6年：p.108－１29 |
| 9．中学校への接続 | ①各所でイラストとともに文字を掲載したり、慣れ親しんだ表現を音声とともに文字で見せたりするなど、徐々に英語を読む力の素地を養います。  ②Let’s Read and Writeでは、文字と音との関係を繰り返し丁寧に学習して、「読むこと」「書くこと」の力を養います。  ③5年後半から、徐々に文字を読んだり書いたりする機会を増やし、中学校での学習にスムーズにつながるよう配慮しています。  ④6年の最後のUnitでは、やってみたい部活動や中学校生活について考える内容にしています。 | ①5年：p.34(Words and Phrases), 35(Chant), 38(Watch and Do)  6年：p.24-26, 28-29, 32  ②5年：p.75  6年：p.35  ③5年：Activity, Story  6年：Activity, Let’s Read, Story  ④6年：Unit 8 |
| 10．カリキュラム・マネジメントへの取り組み | ①他教科との連携を図り、教科横断的な学習ができるようにしています。  ②教科担任制に配慮し、世界地図やコミュ二ケーションに大切なことなど、他教科との連携で必要なものを教科書に掲載しています。  ③教科担任が児童の特徴を読み取ることができるよう、教科書に書き込み欄を多く設けました。  ④複式学級での取り扱いを見据えて、１年間で１冊の教科書を繰り返し使用するラウンドシステムの授業にも対応できるように、余裕をもたせた構成にしています。 | ①5年：Unit 8  6年：Unit 2  ②5年：p.6-7, 88-90  6年：表紙裏, p.1, 8-9  ③5年：p.35  6年：p.29  ④5年・6年：全体 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 11．他教科との連携 | ①【国語】ローマ字や、日本語との語順の違いやアクセントの違いを扱っています。また、話したり聞いたりするときに大切なことを取り上げています。  ②【社会】世界の国の行事や習慣、世界遺産、日本の都道府県の特色を取り上げています。  ③【算数】時刻や金額の表現を取り上げています。また、表やグラフを読んだり作成したりする活動を扱っています。  ④【理科】空の観察と天気の変化についての物語を取り上げています。また、風車による発電で家族を救った人物や宇宙飛行士を取り上げ、科学への関心を高めます。  ⑤【家庭】世界の朝食や外国の食文化、日本各地の料理について取り上げています。また、オリジナルランチメニューを考える活動を行います。  ⑥【音楽】歌やチャンツを取り上げて、音楽やリズムに親しみながら英語を学ぶことができます。  ⑦【図工】名刺、バースデーカード、絵日記などを作成する活動を扱っています。また、Activityでは、絵や写真を用いた作品例を提示し、相手に伝わるように、視覚的にも工夫した表現を考えられるようにしています。  ⑧【道徳】他国の文化・習慣について理解し、日本人としての自覚をもてる題材を取り上げました。また、自律の精神や豊かな情操、道徳心を育む物語やユニバーサルデザインなどを取り上げています。  ⑨【総合】自分の住む地域に必要なものを考えるなど、自ら課題を見つけて解決する力を育てる題材を取り上げました。また、世界のSDGsの取り組みも紹介しています。 | ①5年：p.6-7, 10, 54  6年：p.8-9, 12, 132  ②5年：Unit 8  6年：Unit 2  ③5年：p.15, 34, 68-69  6年：p.48, 81, 103  ④5年：p.104-107  6年：p.48-49, 66-68  ⑤5年：p.40, Unit 6  6年：p.27  ⑥5年：p.35, p.129  6年：p.29(Chant)  ⑦5年：p.11, 29  6年：p.57  ⑧5年：p.20, 44-45, Unit 8  6年：p.44, 91, 104-107, Unit 2  ⑨5年：p.102-103  6年：Unit 3, p.48-49 |
| 12．道徳教育・人権・福祉・異文化理解・ジェンダーへの配慮 | ①Did you know?などで異文化の話題を取り上げて、児童が視野を広げ、国際理解・異文化理解を深められるようにしています。  ②さまざまな人種の人を登場させ、その話を聞くことで異文化理解を深めます。  ③服や持ち物の色、社会的役割に対して、性別による固定概念を植えつけないように配慮しています。  ④困っている人を助ける場面や、相手に配慮して会話をする場面を設けて、思いやりの心を育めるようにしています。 | ①5年：p.40, 44-45  6年：p.34  ②5年：p.38  6年：p.32  ③5年：p.32-33  6年：p.82-83  ④5年：p.79(Watch the Scene)  6年：p.42(Watch and Do) |
| 13．防災教育・キャリア教育への配慮 | ①ピクトグラムや海外の標識を扱い、防災の備えについて考える機会を設けています。  ②あこがれの人の職業や将来つきたい職業について考える機会を設け、キャリア教育につながるようにしています。 | ①6年：p.44  ②6年：Unit 5, 7 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 14．持続可能な開発目標(SDGs)・環境教育 | ①世界のSDGsに関する取り組みをクイズ形式で紹介し、児童のSDGsへの関心を高められるよう工夫しています。  ②自然遺産を含む世界遺産の写真を多く掲載し、自然の豊かさを大切に思う気持ちを育てます。 | ①5年：p.102-103  6年：p.48-49  ②5年：p.91  6年：p.27 |
| 15．教師支援・「働き方改革」への配慮 | ①各Unitを３つのStepに区切り、構成を一定にすることによって、指導しやすくしました。  ②年間配当時間に余裕をもたせ、必要事項を１年間できちんと指導しきれるようにしました。  ③紙面上に学習する語句や表現を明示し、書き込み欄を設けることによって、教科書だけで児童が主体的に学習に取り組むことができるようにしています。  ④デジタルコンテンツを充実させ、指導書には毎時の指導案を掲載した指導案集やアレンレシピ集を用意し、さまざまな授業スタイルにカスタマイズできるようにしています。 | ①5年：p.32-39  6年：p.24-33  ②5年・6年：全体  ③5年：p.34(Jingle), p.35(Chant, Activity)  6年：p.28, 29  ④5年・6年：全体 |
| 16．オールイングリッシュへの配慮 | ①Small TalkやTeacher’s Talkによって進めやすい題材を取り上げ、イラストを掲載しています。  ②デジタル教科書を使って、ネイティブによる英語の音声での指導ができるようにしています。  ③指導書には指示文の英訳や使用英文例を掲載しています。朱註の英訳版のデータを準備し、ALTに配慮しています。 | ①5年：p.32-33  6年：p.24-26  ②5年・6年：全体  ③5年・6年：全体 |
| 17．特別支援への対応 | ①各Unitで活動の位置を固定化し、すべての児童や指導者が迷わず、安心して学習できるようにしました。  ②日本語にも英語にもUDフォント（ユニバーサルデザインフォント）を採用しました。手の動きを重視し、鏡文字に間違えないように配慮された形状の欧文書体を使用することによって、すべての児童が文字を書き写しやすいように配慮しています。  ③個人の特性に関わらず、だれにでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使い、「メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）」による検証を行っています。  ④音声読み上げなど、特別支援機能を備えたデジタル教科書や拡大教科書を用意し、児童のさまざまな学習形態に対応できるようにしています。 | ①5年：p.32-39  6年：p.24-33  ②5年・6年：全体  ③5年・6年：全体  ④5年・6年：全体 |
| 18．家庭学習・自学自習への対応 | ①めあてや学習すべき語句・表現を明示し、児童が自ら進んで学習に取り組めるようにしています。  ②紙面にQRコードやURLを掲載し、家庭でも音声を使って学習できるようにしています。 | ①5年：p.33  6年：p.26  ②5年・6年：全体 |
| 19．家庭や地域との連携 | ①家での仕事の分担や、家族や身近な人のよい部分について話す機会を設けています。  ②町の道案内、地域の紹介などの題材を取り上げ、自分の地域に必要なものについて考える機会を設けています。 | ①5年：Unit 3, 5  ②5年：Unit 7  6年：Unit 2, 3 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | 特色 | 具体例 |
| 20．ICTの活用 | ①デジタル教科書を利用して効果的に学習できるようにしています。繰り返し学習が有効な箇所には、QRコードを掲載し、個別学習ができるようにしています。  ②インターネットを活用した調べ学習を促すコーナーを設けています。  ③コミュニケーション時のツールとしてタブレットやパソコンを用いているイラスト・写真・映像を入れ、ICT活用の例を示しています。 | ①5年・6年：全体  ②5年：p.40, 44-45, 102-103  6年：p.34, 48-49  ③5年：p.33, 97  6年：p.14-15, 33 |
| 21．学習者用デジタル教科書の充実 | ①特別支援機能や音声の速度調整などの機能が付いた学習者用デジタル教科書を用意し、すべての児童が安心して学習に取り組むことができるようにしています。  ②QRコードでアクセスできるコンテンツをすべて収録し（320コンテンツ）、個に応じた学習が進められます。 | ①5年・6年：全体  ②5年・6年：全体 |
| 22．衛生、感染症対策・臨時体制等への配慮 | ①感染症流行時に、児童自身で学習を進めることができるよう、学習に必要なほとんどの音声や映像をQRコードから視聴できるようにしています。  ②児童同士のコミュニケーション活動ができない状況には、QRコードから活動の例示を見せられるようにしています。 | ①5年・6年：全体  ②5年：p.39（Activity）  6年：p.33 |
| 23．体様の工夫 | ①大きな判型（A4判）を採用し、見やすく書き込みやすい紙面にしています。  ②世界地図、日本地図を大きく見られるように、折り込みを使用しています。  ③巻末にミシン目入りの絵カードを用意しています。カルタなどのゲームに使用したり、語順を考える活動に使用できます。  ④巻末にミシン目入りの「会話を楽しむフレーズ集」を用意しています。コミュニケーション活動の際に活用できます。 | ①5年・6年：全体  ②5年：p.88－90  6年：p.24-26  ③5年・6年：巻末  ④5年・6年：巻末 |
| 24．文字・用紙・印刷・製本 | ①だれにでも識別しやすい「UDフォント」を使用しています。  ②行間にゆとりを持たせ、文章が読みやすいよう配慮しています。  ③見やすさ、読みやすさ、書き込みやすさに配慮した大きな判型（A4判）を採用しています。  ④書きやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用しました。  ⑤アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しています。  ⑥開きやすく、強度が保てる「あじろ綴じ」を採用しています。 | ①～⑥5年・6年：全体 |
| 25．個人情報の取り扱い | ①すべての個人情報（デジタル教科書等で取り扱う個人情報）について、社会的使命を十分に認識し、本人の権利の保護、個人情報に関する法規制等を遵守します。 | ①5年・6年：全体 |